

開校準備検討委員会「答申書」内容説明会会議録

☆中部小学校 （開催日 9月30日 ランチルーム 7時30分～）

参加者（保護者・学校職員含め 27人）

特に要望、意見等の発言はなかった

☆北部小学校 （開催日 10月6日 図書館 7時30分～）

参加者（保護者・学校職員含め 16人）

質 疑

Q1 今までの学校と変わるところは何か。

A 大筋は、文科省の学習指導要領に基づいてすすめるので変らない。ただ子どもの人数が多いということは、それだけで大きな変化につながる。

Q2 特色は何を目指すのか。

A 12月までに具体的なことは詰めていきたい。全体像がはっきりしていないので、細部についての調整がまだできていない。子どもたちの交流等の様子を見ながら、一つずつ方向を見極めたい。

Q3 大人たちには統合の概要は浸透してきているが、子どもたちの中には、仲の良かった子と離れるというイメージがある。精神的なフォローが必要と思う。

A 子どもにとっても不安と期待が入り混じっていると思う。3校合同の交流を進めている中で、子供の中にも垣根が取れている姿がある。

Q4 飯山等にいくと「パトロール中」のようなマグネットをつけた車を良く見かける。村はやらないのか。

A 現在、毎週火曜日と金曜日に子どもたちの下校に合わせ役場職員がパトロールをしているが、今後PTA、安協、警察等と連携しながら進めることを検討していかなければならないと考えている。

Q5 夏休みは多くなるのか。クラス替えはあるのか。運動会の会場は学校の校庭になるのか。

A 運動会は、学校の予定で進めたいが、クラス替え等は、まだ検討中である。12月3日の新小学校説明会で報告したい。

要 望

- ① 3月に登校指導があるが、新1年生も参加させてほしい。
 - ② 通学路の安全指導は、校外指導部で関わっているが、新校外指導部が決まっているようなら合同で参加させてほしい。
 - ③ 子どもにどう思っているか聞いてみたら「楽しみだ」という言葉が返ってきた。地域の声かけがあれば子どもたちも元気がでるので、登下校時には子どもに声かけをしてもらえるような対応をしてほしい。
 - ④ 学校が遠くなるのが心配。なるべく多くの人の目に触れるようにしていただけるとありがたい。
-

☆南部小学校（10月9日 ランチルーム 7時30分～）

参加者（保護者・教員等含め 23人）

質 疑

- Q1 前回の説明会から今回の説明会までの間がたいへん空いたがどうか。
- A 検討委員会の答申がまとまり、ようやく皆さんに説明ができるようになった。間が空いたのは申し訳ないが、皆さんのご意見を聞かせてもらえればありがたい。
-
- Q2 前回の説明会も今回の説明会も議会対策のためにやっているように感じるがどうか。
- A タイミング的にそうなったかもしれないが、前は村の統合方針がでたのが12月だった。できるだけ早く皆さんにということで1月に説明会をさせていただいた。今回の説明についても、去年の6月にそれぞれの検討委員会を立ち上げ、ようやく盆前に全体としてのまとめができあがったので、議会へ報告をし、すぐに説明会の段取りをして、この時期になった。議会は年4回あるので、たまたま議会の前になった。早く皆さんにお話しをしたいということで精一杯の日程を組んでやっている。議会のために計画をしているわけではない。
-
- Q3 この説明会で出された意見を検討し、12月議会に改善したものをかけてもらえるのか。
- A 皆さんの意見をお聴きして概ねこれで良いというならこれで進めさせていただきたいし、こうした方が良いという意見があれば検討をさせていただきたい。
-
- Q4 今回の意見は12月議会までに反映させていただけるということでのいいのか。
- A 今回の意見は12月3日開催予定の学校合同説明会に間に合わせたい。
-

Q 5 要望・確認事項とあるが、問題があると分かっているのか。「将来的に」とは、いつやるのか。全部やるとしたら経費はいくらかかるのか。スクールバスは現在ちにいくらかかっているのか。

A これについては、保護者の皆さんから見て、通学路としての指摘であって、普段生活するにあたり特に危険で、すぐなんとかしなくてはいけないという状況ではない。子どもが通うにつけては確かに危険と思われるところ、例えばガードパイプとかは来年の4月までには対応したい。問題は、村で解決できるものとそうでないものがあり、これは関係機関に要望していくしか仕方がない。できることはすぐ対応するが、実際には相手のある話であり、当然お金のかかる話なので、すぐにできるものとできないものがあるので、ご理解いただきたい。なお、スクールバスの経費は3台の運行で約600万円かかっている。

Q 6 通学路の改善経費に多額の経費もかかるし、何年かかるか分からない。ほんとにやるのかも分からない。検討委員会のときにそういう説明はしたのか。

A 検討委員会でも「将来いつごろどうなるか」という質問はあった。先ほど言ったように「将来的には村としては考えているが、いつできるのかという話は現在のところ言えない。」という話はした。道路は、通学路のためだけではなく、地域住民の生活のためでもあり、生活の場所でもある。

Q 7 全員にスクールバスを出すといくらになるか試算したか。

A 全員スクールバスという話は検討委員会の話の中にはなかった。

Q 8 検討委員会の危険箇所の指摘があるままスタートさせていいのか。この資料に、教育委員会で責任をとると書いてあるが、もし何かあったら教育委員会で責任を取れるのか。今防犯上パトロールをしているがそういうのも責任をとるのか。交通事故もそうだが、要望が上がってきたものに対応しないことによって事件が起きた場合に責任がとれるのか。

A この資料での責任を取るというのはそういうことではなくて、冬場のスクールバスとか、子どもたちの通学方法など、改善していかなければならないものがあれば、半年やってみれば状況がわかるので、秋ごろに責任を持ってそういう話し合いの場を作るという意味である。

Q 9 実際に動きだして問題が出ての話はいまの対応で良いが、現在ここに問題点として上がっていることなのに、事前にリスクが高いことが分かっている、進めるというのはおかしい。代替案はないのか。

A 安全を第一に考え、歩道のある市之割経由を提案しているし、スクールバスについても配慮している。

Q 1 0 通学路は、南部地区の子どもは市之割経由ということだが、中島の子どもは危険だと思ふ箇所をスクールゾーンみたいな形でその時間だけ車を止めてもらうような配慮はできないか。

A そういう検討はしたが、現実にはなかなか難しい。距離よりも安全ということで市之割経由とした。距離的には、大町の郵便局から西小路周りど、市之割経由での差は300mだった。

Q 1 1 3小学校に分かれていた時は家の近い子と仲よくなるが多かった。子どもの行動範囲が広がることは、良いことなのだが逆に広がるのが心配でもある。クラス替え等はあるのか。

A 現在は決まっていない。12月3日には、時間割等具体的に報告したい。

Q 1 2 6年間同じクラスというのははじめとかが心配される。2年か3年でクラス替えはできないか。

A 担任との扱いもあるので、要望があったら聞かせてほしい。

Q 1 3 南小のときは、朝や下校時以後、スキー部の子は自由に活動していたが、登校、下校の時間規制(制限)はするのか。学校にいる自由はあるか。

A 放課後児童クラブやジュニアベーシックトレーニングなどの調整が必要になってくると思われる。今後詰めていきたい。

Q 1 4 高学年の登下校の安全はどうなるのか。今南部小学校は集団登校をしていないが、そのような方向になるのか。

A 12月にお答えできるようにしたい。

要 望

① 教育方針も決まってきた夢のある話になってきてうれしいが、8人であったクラスがいきなり40人を超える。子どもの戸惑いも大きいと思うので、スクールカウンセラーというか、学校の中に相談しやすい、話しやすい形を作ってほしい。

② 市之割経由となると、冬期間消雪パイプの水が心配。小さい子は車の水はね等があると、つらい。対策を考えてほしい。《郵便局から大橋までの間及び市之割信号下の水等》